

風早幼稚園

畑づくりから収穫までを体験し こどもたちの自然への関心が高まりました

保育環境づくりのポイント

当園は、74年間過ごした山すその、のどかな環境の園舎から、国道沿いの新園地に移転。新園地でも子どもに自然に触れたり、感じる機会をたくさん持ってほしいと思い、園庭に畑をつくりました。子どもが自然の変化に気づいたり、栽培から収穫までの経験を通して、食への興味を持つきっかけにもなりました。旧園地も、雑草を使った遊び、虫取り、収穫体験ができる場へと整備を開始。農作業の体験時には地域の高齢者とのつながりの場にしたいと考えています。

～こどもたちのこの力を育みたい～

- 感じる・気付く力
- うごく力
- 考える力
- やりぬく力
- 人とかかわる力

取組み内容

園の一角に畑を

真剣なまなざしで、種の植え付けの仕方を聞きま
す。そばで見ていた異年
齢児も飛び入り参加



畑でとれた
小松菜や、
はつか大根
を調理員さ
んが給食に
入れてくれま
した。「おい
しかったよー」

園庭の木(落葉樹)の
葉っぱを乾燥させて、
たい肥作り



小松菜



スイカもできました。
いつ食べられるか心
待ちにしていました。



はつか大根収穫



トマト



ミニトマトの収穫。
「今日は採れ
る?」「トマト食
べれるようにな
ったんよ」



芋を包んだり、焚火
の準備。

園でとれた芋で焼き
芋を作りました。

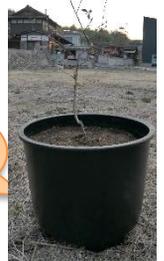


焼き芋パーティー

旧園庭を遊び場に改良中



井戸に手押し
ポンプを設置。
畑の水やりに
利用。



畑の整備とブ
ルーベリーの木
を植え付け



園長・山野

<今回の取組みを通して>
植え付け、水やり、間引きを体験したり、これまで苦手
だった野菜が食べられるようになった喜びなど、子どもの
「気づき」やうれしそうな「笑顔」がたくさん見られました。